



## <課題>

- 高齢者の増加による公共交通の需要増加への対応
- 利用者のニーズに応じた公共交通サービスの整備
- 自動車依存と公共交通離れ
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者減少
- コミュニティバスの収入の確保
- コミュニティバスの周知不足

## <基本方針>

基本方針①  
市民が利用しやすい公共交通体系の構築

基本方針②  
市民、事業者、行政の協働による持続可能な公共交通の構築

## <目標>

目標①  
より利便性の高い公共交通サービスの提供

目標②  
持続可能な公共交通体系の実現

目標③  
市民、事業者、行政が一体となった実施体制の継続

## <事業>

ニーズに応じた公共交通サービスの提供

ICTを活用した公共交通サービスの導入

ゼロカーボン・シティへの貢献

利用促進策の実施

財源の確保

## <具体的な検討内容>

- 運行本数、ルート、ダイヤの見直し
- 交通モード間の連携（乗り継ぎ利便性向上）
- 近隣市との連携
- 民間企業の輸送サービスなどの地域の輸送資源との連携
- 新たな交通モードの検討（デマンドタクシー、自動運転等）
- バスロケーションシステムの導入
- EV車両・FCV車両の導入
- 利用促進に向けたイベント、キャンペーンの実施（バスの乗り方教室、一日フリー乗車券や試乗券の配布等）
- 観光施策との連携（観光の移動手段としてバスを活用）
- 公共交通マップの定期的な更新
- コミュニティバスの料金体系の見直し
- 広告掲載、ネーミングライツ事業の継続

重点施策  
 前計画から新たに設定した施策



# 入間市地域公共交通計画の骨子（案）

目標	評価指標			目標設定の考え方
	指標	現状値	目標値	
より利便性の高い公共交通サービスの提供	公共交通の利用者数	交通モード別の利用者数 (令和3年度)	現状値以上	新型コロナウイルス感染症の影響などにより の先行きも不透明なことから、現状より減少 させないことを目標とする。
	公共交通利用可能 人口 (人口カバー率)	89.1% (令和4年度)	現状値以上	運行ルートの見直しやバス路線の維持によ り、人口カバー率を維持する。 (人口カバー率：鉄道駅から1km、バス停から300m 圏内を公共交通利用可能圏域とし、その中に入る人口 を算出)
	バス交通満足度 (市民アンケート調査)	満足度割合 ていーろーど：20% ていーワゴン：15%	満足度割合 ていーろーど：37% ていーワゴン：31%	「満足」「やや満足」の回答割合（20%、 15%）に、「不満」「やや不満」割合（51%、 48%）の約3割（17%、16%）を満足に転 換させることを目標とする。
持続可能な公共交通体系 の実現	コミュニティバス収支率	ていーろーど：15.2% ていーワゴン：7.6%	現状値以上	利用促進による運賃収入の増加が想定さ れるが、人件費、燃料費、車両維持管理 費等の増加も見込まれることから、現状より 低下させないことを目標とする。
	財源の確保	広告掲載数：2 ネーミングライツ締結数：1	広告掲載数：3 ネーミングライツ締結数：2	現在掲載頂いている企業等には継続的に 掲載してもらうとともに、新たな掲載数の獲 得を目標とする。
市民、事業者、行政が一体 となった実施体制の継続	イベントの開催	開催回数：－	開催回数：1	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、 5年間で1回の実施を目指す。